

気仙地域が廃食油の資源化により里川・里海を 保全する低炭素コミュニティづくりの モデルとするプロジェクト

〒020-0124
岩手県盛岡市厨川115-8-6
電話:019-681-1904
E-mail:kanpai@utopia.ocn.ne.jp
http://www.iwate-eco.jp/



復興支援助成

1年目

実践



放課後学童クラブで科学講座(超電導体験)

ローソクの科学講座
参加児童数 140人

エコクッキング講座
参加者数 157人

今年度計画の達成度 100%

活動の全体目標に対する
達成度 30%

苦労した点と工夫した点



■ 苦労した点

自治体との連携がうまく進まず、さらに従来の軽油代替燃料の需要は落ち込んでおり、製造を廃止する事業者が増え逆風の中の活動。

■ 工夫した点

熱電利用を模索し活動して、発電機を復興商店街でのイルミネーションイベントで利用することで市民へのアピールをはじめた。

課題

地域での廃食油回収～利用までの円環をつくること／震災からの復興は住民に寄り添いつつ、地域において人と人がつながり、お互いの顔が見える活動を進める必要がある。

目標

①廃食油による資源化量(バイオディーゼル燃料(BDF)の精製量)が増加する。②廃食油の資源化に対する市民の理解が増える。③廃食油資源化活動を行う地域が増える。

活動内容と成果

地元の団体とともに災害住宅アパートなど各地域のコミュニティで天ぷら油の出し方講習を含めたエコクッキングなど地道な活動を継続している。新住人の交流が少ない団地もあり、声を掛け合うことから始めている。

地域での孤立解消や福祉分野での仕事づくりなど、地域での社会的なメリットを最大限生かす取組みへの第一歩を進めた。
また、異なる世代に受け入れられる形で情報を提供するため、活動に参加する方が、自分の出した油が誰によってどこでどのように活用されているか、知る機会をつくった。



漁火イルミネーションへBDF発電機で協力

今後の展望

新たに地元の漁火イルミネーション実行委員会との交流も始まり、商工観光やまちづくりの観点での活動にも広がってきた。